

# 医学研究実施のお知らせ

函館五稜郭病院（呼吸器内科）では倫理委員会の審査を受け、病院長の許可を得て以下の研究を実施しております。このお知らせは、「文部科学省・厚生労働省 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲載しています。

## 【研究課題名】

極細径気管支鏡を用いた末梢肺病変に対する経気管支針生検（peripheral TBNA）の診断予測スコアの有用性を検証する前向き観察研究

## 【研究の概要】

### ●目的

肺癌などの肺末梢病変の診断には気管支鏡検査が行われますが、従来の鉗子を用いた生検（TBB）だけでは診断が難しい場合があります。近年、より細い気管支鏡（PeriView FLEX）と、針を用いて病変を採取する方法（pTBNA）が登場し、診断率の向上が期待されています。本研究では、過去の検査データを解析してpTBNAが成功しやすい条件（予測スコア）を明らかにし、さらに今後の患者さんにおいてそのスコアが実際に役立つかを検証することを目的としています。これにより、より安全で確実な診断方法の確立を目指します。

### ●対象となる方

2024年5月1日から2027年12月31日までの間に、当院で気管支鏡検査を受け、極細径気管支鏡（PeriView FLEX）を用いて末梢肺病変に対する針生検（pTBNA）を施行された（または施行される予定の）20歳以上の患者さん。

### ●研究期間

倫理委員会承認日～2027年12月31日までです。

### ●研究に利用する試料、情報等

- 患者さんの背景（年齢、性別、既往歴など）
- 画像検査の結果（CT画像、病変の大きさ・位置など）
- 気管支鏡検査の詳細（使用した器具、超音波所見、手技の内容など）
- 診断結果（病理検査、細胞診の結果、最終診断名）
- 安全性に関する情報（出血や気胸などの合併症の有無）

### ●プライバシーの保護

本研究で取り扱う患者さんの情報は個人情報を削除し、当院で発行した匿名化 ID 番号を使用しますので個人情報が外部に漏れることはありません。

## ●研究の成果

この研究で得られた研究結果は学会や学術雑誌で発表を行う予定です。その際も個人が特定できる情報は利用しません。

### 【本研究に関する問い合わせ先】

この研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。また、この研究に試料・情報を用いられることについて患者さんにご了承いただけない場合には、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、ご連絡いただいた時点で既に、研究結果が論文などに公表されている場合や、研究データの解析が終了している場合には、解析結果などからあなたに関するデータを取り除くことができず、研究参加を取りやめることができなくなります。

#### 函館五稜郭病院 呼吸器内科

研究責任医師：角 俊行

共同研究者：山田 裕一

共同研究者：四十坊 直貴

共同研究者：奈良岡 妙佳

共同研究者：武田 和也

共同研究者：石郷岡 大樹

#### 函館五稜郭病院 病理診断科

共同研究者：杉田 真太郎

共同研究者：有岡 琴美

電話：0138-51-2295（病院代表番号）

（対応時間：平日 9：00～17:00 呼吸器内科外来）